

「第19回 全日本小学生・中学生書道紙上展」に出品

今年の新たな取り組みとして、全日本小学生・中学生書道紙上展に初出品いたしました。

この展覧会は、公益社団法人日本書芸院、読売新聞社が主催し、小学生・中学生の書写書道の技術向上を図り、書道を通してより豊かな人間形成に役立てることを目的とした展覧会です。

作品サイズは長半紙の4倍サイズの半切(はんせつ) ㍻135cm×ヨ34.5cm。

全作品から各学年の優秀作品より「ベスト100」「準ベスト50」が選出され、認定証や図書カード、受賞者名簿を掲載した小中展新聞および読売新聞掲載記事が出品者に贈られます。

受講生には新たなことに挑戦しステップアップする気持ち、姿勢で取り組んでほしいと考え、今年は、由源全国書道展において優秀な成績を受賞した生徒及びJAコンクールで半切作品を出品した生徒を中心に33名(小1-1、小3-7、小4-7、小5-3、小6-3、中1-7、中2-3、中3-2)が私どもより出品いたしました。

展覧会の結果発表を9月24日、日本書芸院ホームページで確認いたしました。

全国から13,105点の出品。

大変喜ばしいことに私どもの受講生が、「ベスト100」に4名(小3-1名、小4-1名、中2-2名)、
「準ベスト50」に2名(小4-1名、中1-1名)、合計6名が選出されました。

まさしく「やった！」の一言につきます。

初出品した今回の結果を受けて、指導者一同、心よりうれしく感慨深い気持ちになりました。

受賞されたみなさんおめでとうございます。

自分の身長より大きな半切の紙やいつも使っている筆より太い筆を見て、「うわあ～大きいなあ。書けるかな。」と心配しながらも「楽しそう。やってみたい。」と作品に取り組むこどもたちの目は真剣で、太い筆を腕いっぱい動かして一生懸命に書く姿勢を見ていると指導する私たちも元気よく、より良い作品が書けるよう導きたいという一心でした。

どんなことでも新しいことにチャレンジすることは、とてもエネルギーがいることです。

こどもも大人も一緒です。恐れずがんばった先にはきっと”自信”がついてきます。

これからも共に少しずつ少しずつ前へ進んでいきましょう。「継続は力なり」です。

受講生のみなさん、次回展も共に頑張りましょう。

保護者の皆様、平素は書写・書道教育にご理解いただきまして誠にありがとうございます。

これからもお子さまの成長していく姿をあたたく見守っていきましょう。

結果発表等詳細につきましては、

日本書芸院のホームページ<<https://www.nihonshogeiin.or.jp/>>をご覧ください。